

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 11 No. 18 TOTAL 452 平成 20 年 12 月 15 日 第 470 回例会

【例会日】 毎週月曜日 12:30~13:30

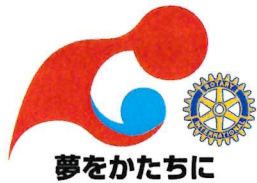
【例会場】 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

【事務局】 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田端 順造 [会報委員]
副会長/島 和代 ○石橋 達子 ○吉岡 恵美
幹事/松田美代子 北畑 米嗣 白神 修次 福辺 昌紀



2008-09年度
国際ロータリーのテーマ
「夢をかたちに」
国際ロータリー会長
ドン カン リー

2008-09年度
アゼリアロータリーのテーマ

「人に喜びを与えるロータリアンになろう。」
「海外に姉妹クラブをつくらう。」

〈本日の例会〉

- 第 470 回例会 12月15日(月)
- 外部卓話「健康について」
和歌山県立医科大学 上野雅巳 先生

〈次回のお知らせ〉

- 第 471 回例会 12月22日(月)
- 夜間クリスマス家族例会

〈前回の例会記録〉

- ローターソング 日も風も星も
- ゲスト紹介 地区財団学友 岩江 荘介様
- ビジター紹介 なし
- 出席報告 会員数43名
本日の出席 (12/8) 33名 76.74%
前々回修正出席 (11/17) 37名 86.04%
- メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 1名

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	12月15日(月)	クラブフォーラム 上半期活動報告
和歌山	12月16日(火)	年末家族会 ホテルグランヴィア和歌山
和歌山東南	12月17日(水)	クラブ活性化 例会委員会
和歌山西	12月17日(水)	徳川家康と根来寺
和歌山東	12月18日(木)	卓話
和歌山城南	12月18日(木)	外部卓話「米山ワークショップについて(仮)」
和歌山南	12月23日(火)	クリスマス家族例会
和歌山中	12月20日(土)	クリスマス家族例会

〈四つのテスト〉 言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

会長報告

会長 田端順造



いよいよ年賀状作りに煩わされる頃となりました。年賀状の余白に肉筆で書かれた一言に、相手の思いやりの心を感じつつ何度も読み返す。元旦の朝に味わう喜びを期待して、忙中ではありますが健在の証のためにサボらないで作成したいと思っています。

岩江荘介さんようこそお越しくございました。岩江さんは財団親善奨学生として、1ヶ年間イギリスへ行ってこられ、現在大阪大学に就学中です。後程卓話をいただきます。よろしくお願いします。

先月は「ロータリー財団月間」でした。財団や米山奨学会への理解を深めることができましたでしょうか。財団と米山奨学会特別寄付の状況ですが、先月末までに約8割の方々から善意の協力をいただきました。全会員からの協力いただくことは夢なんではないでしょうか。この夢は形になりませんか。・・・残りの皆さんからのご協力を切望します。

さて、今月は「ロータリー家族月間」です。日頃から私たちの活動を支えてくださっている家族や知人の方々に感謝の気持ちを表しましょう。その機会でもある、22日の家族例会には、ぜひお揃いで大勢でのご参加をお待ちしています。親睦活動委員の皆さんご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いします。

当クラブでは、まだまだ家族の方に出てきていただく機会づくりが少ないのではないかと考えています。

ところで、前回の例会で「まちの保健室」の卓話をしていただきましたが、「まちの保健室」とは、病院へ行くほどではないけれど、最近ちょっと気になることがある。学校や職場や家庭のことで、1人で悩んでいることがある。家での家族の療養生活のことでアドバイスが欲しい等、さまざまな不安や悩みを看護職に気軽に相談できる場所です。地域に根ざしたものにするために、行政機関はじめ、地域の民間企業、NPOなどの関係団体との連携が大切で

あり、必要とされています。

私は、地域の多くの人々を対象としたこの事業への参画とプログラム化を、ぜひ今年度の社会奉仕活動に採り入れたいと考えています。なお、社会奉仕はじめ、各種奉仕活動の財源は、会費収入からではなくニコニコ箱会計からの充当となっています。この点のご理解も含めて、支援を了解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

地域での恒久的なライフサポーターの一員を目指すプログラム化のために。

今年は幹事ともども出来るだけ多くのことを、例会の報告の中でお伝えし会報に掲載するよう頑張っています。会報に掲載しているにもかかわらずご意見やご照会が時としてあります。会報には活動の原点が記載されています。よく目を通すようにしてください。

幹事報告

幹事 松田美代子



○12月2日(火)ゲートタワーホテルにて「女性ロータリアンの集」に出席して参りました。アゼリアからは11名の参加で男性会員4名の方にもご協力頂きました。全体で

150名程の参加の中、司葉子さんの講演をおききました。もっと女性会員をふやす工夫をしてほしいということでした。

世界の中で女性は約15%、日本はまだ3%程のことです。すてきな男性がいれば女性も入るであろうとも言っておられましたので男性の方々よろしくお願い致します。

○台北高峰ロータリークラブ訪問について

11月に予定していたのが延期となり、2月27日～3月1日に訪問する予定となっております。できるだけ参加頂きたく思っています。

ボックスの中にクラブ別友好クラブの活動一覧表が入っています。ご一読下さい。

委員会報告

◎親睦活動委員会

副委員長 小門篤子

年末家族会のお返事いただき、たくさんのご参加ありがとうございます。今回はアゼリアバンドの参加がございませんが、ハンドベルとマジックの催し物



を考えております。

また、お招きする方たちのために、ご家族の中で何かご披露していただける方がいらっしゃいましたら親睦までお申し出下さい。

◎広報委員会

委員長 島 和代



「ロータリーの友」12月号の紹介

★横組

P 1 R I 会長メッセージ

今こそ、私たちの家族の焦点を当て、ロータリーの奉仕に家族をまきこみ、困っている人々のために支援出来るようにとむときです。

P 5 広がれ ロータリー家族の輪

ロータリアンの家族すなわち、配偶者、子供、両親といった人たちのこと。「家族月間」にちなみ、ロータリー家族に含まれているロータリーのプログラムについて紹介しています。

P 8 国際大会 その軌跡

1910年にシカゴで開催された初の大会に出席するため、西はロスアンゼルスから東はボストンまでの60人のロータリアンがシカゴに集まりました。来年はバーミンガムで100回の国際大会が迎えられます。120万人のロータリアンが旧交を温め、新たな友情をはぐくむのに絶好のチャンス。

P 14 R I 指定記事 ポリオの現場に行く

4つのポリオ常在国の一つ、インド。この国で子供たちに2滴のワクチンを投与するための活動をさまざまな角度から紹介されています。

P 21 岩手・宮城内陸地震報告とお礼の言葉がのせられています。

★縦組

P 2 グローバル化時代の人の移動と人道支援

難民の数 1,100万人

国内避難民 2,600万人

難民とは「にげる人」の事。政府につかまったら今夜どこにねよう、今夜食べるものはあるのか、将来どうなるのかと強い不安を持ってにげている人のこと。

国内避難民とは、国境をこえれば難民となり、難しいから、よく読んでおいて下さい。

P14 俳壇

大阪・堺フェニックスRC 米田真理子会員

「今朝解けしばかりの芒供華に剪る」

柳壇

大阪・堺RC 伊藤篤風会員

「タイガース家に二人の評論家」

大阪・泉佐野RC 赤井聡宏会員

「幹事やりはじめてわかるロータリー」

P20 友愛の広場

大阪・堺東RC 竹山時和会員

「わが一族の奉仕の精神やいかに」

という事で竹山氏が入会して34年、現在85才であります。現在まで色々ありましたが、まず己の足元をしっかりと固め、世の人の手本となり、世の中の人のためにはげんでいる姿を今の世を生きるもはんなるべく心がけているとのことでした。

P24 ロータリーネットワーク

和歌山南RC 「目出せRC旗」

雑賀野球場で西支部和歌山南RC旗争奪野球大会を開催し、30周年記念大会で多くのチームが参加、熱戦を展開。今回は特に少女ピッチャーなど女性パワーに見るものがあつた。ここまで来たか女性。

卓 話

「留学先での体験談」



地区財団学友 岩江 荘介 様

こんにちは、財団学友の岩江荘介（いわえ・そうすけ）です。現在、大阪大学・大学院医学系研究科の医の倫理学教室で、博士課程の大学院生として生命倫理や医療倫理を研究しています。

昨年の8月から本年7月までの11ヶ月間、財団国際親善奨学生として英国ランカスター大学に留学させていただきました。

今回の留学では本当にいい経験をさせていただきました。ランカスターでの11ヶ月は、今までの人生の中でおそらく最も密度の濃い時間でした。

留学先の街は、ランカスター市というイングランド北西部に位置する人口4万6千人の比較的小さな都市です。マンチェスターから電車で1時間ほど北上した所にあります。現地でお世話になったクラブは、The Rotary Club of Lancaster Loyne という設立20

数年の若いクラブでした。

春と夏のランカスターは、まるで北海道のそれと同じく爽やかで極めて快適でした。打って変って、秋冬は曇天に象徴される典型的なイギリス気候で、寒くて暗く一日一回は雨が降る大阪人には極めて不向きな気候でした。

Host-Rotarianの方は、Stephen Clarke氏という元国税局職員の方でした。月に一度か二度、例会に参加させていただき、極東アジアから来た学生を実に温かく持て成していただきました。ハードな勉強の合間にホッとする楽しい時間を過ごさせていただきました。

留学した大学は、Lancaster Universityという1960年代に設立された比較的新しい大学でした。同大学の社会学部に併設しているCESAGen(Centre for Economic and Society Aspects of Genomics)というバイオテクノロジーの社会的問題を専門に研究している研究所があり、同研究所が運営している修士プログラムで一年間勉強してまいりました。

私自身、それまで4年半ほど生命倫理の分野で研究活動をしてまいりましたが、イギリスの同分野の研究は圧倒的に進んでいました。正直申し上げて、度肝を抜かれました。社会科学分野の研究では欧米が日本の遙か先を走っている、という事実を目の当たりにしたのです。

しかし、そういう事実と直接触れただけでも大いなる成果であったといえます。

肝心の授業の方ですが、本当に辛かったです。やはり、語学のハンディには最後まで泣かされました。でも、日本の大学に居ては得られない最新の知識や理論に出会った時は、学ぶ喜びや海外で勉強する醍醐味を本当に実感しました。

また、現地で知り合いになったネイティブの友人たちや香港人(高等教育を受けた香港人の大半はバイリンガル)の友人たちと週に3~4日、学内のカフェでお互いの文化について語り合う時間を作って、語学力のトレーニングを行いました。おかげで、帰国前には随分と上達しました。もちろん、国際人として第一線で活躍するにはさらなる努力が必要ですが。確かに、ロータリーの方々や現地の親しい友人たちとの付き合いは楽しくて充実したものでした。しかし、イギリスには依然としてアジア人への偏見は根

深く残っております。悲しいかな否定できない事実です。街の店員から、学生や大学の職員に至るまで外国人とのコミュニケーションを疎ましく思う連中がたくさん存在するのも事実です。一日一回は、何らかの不愉快な思いをさせられました。

そんなことでフラストレーションが溜まった時期もあり、留学経験のある先輩に打ち明けたところ、「岩江さん、それこそが留学なんです。だからこそ、わざわざ海外で住む価値があるんですよ。そんなこと日本で経験できますか？国際人になるためには必須の経験ですよ。」との返答がありました。この言葉に救われましたね。

将来の目標についてですが、今は来年3月に博士号を取得すべく研究活動を行っております。また、京都大学で10月よりパートタイムの研究者として勤務しております。大学教授になることが最終目標です。私自身は医師ではありませんが、生命倫理の研究を通じてより良い医療政策を実現し世の中に貢献したく思っております。

夢を実現するまで、数多くの試練を乗り越えなけれ

ばならないでしょう。しかし、泥臭く愚直に夢に向かって進んで行く所存です。

S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

野村 伸会員 女性の会に出席出来なくてすみませんでした。

辻 曙生会員 先日の「女性ロータリアンの集い」に多数ご参加ありがとうございました。主催者の方からとても喜ばれました。

小門 薫子会員 別ににこにこする事もないのですが・・・12月分です。

本日合計額 13,000円 今年度累計額 595,000円

*ロータリー財団

小門 薫子会員 信川 昌通会員

本日合計額 10,000円

*米山奨学

小門 薫子会員 信川 昌通会員

本日合計額 10,000円

親睦旅行

